

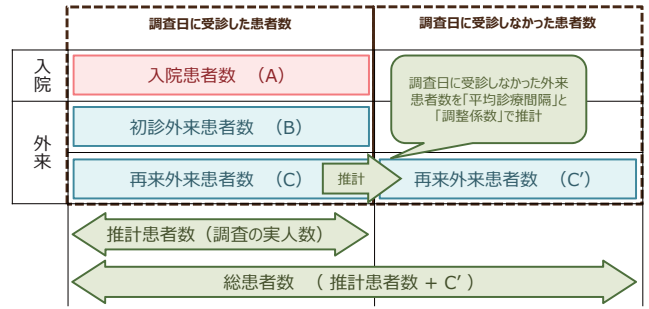
# 患者調査における平均診療間隔の分布と 外来再来患者数の変化

奈良県立医科大学健康政策医学講座  
久保慎一郎



## 患者調査における「総患者数」とは

- 継続的に医療を受けている者の数を算式により推計したもの。

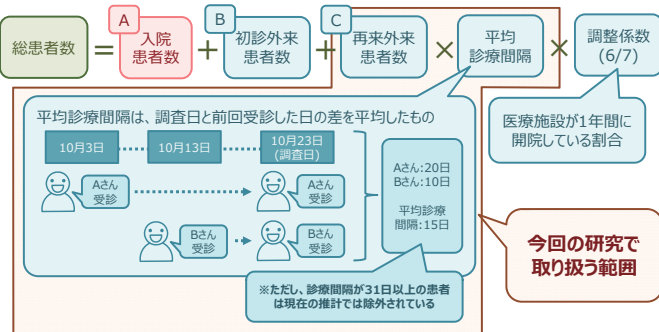


厚生労働省「平成26年(2014)患者調査の概況」5 主な傷病の総患者数より一部変更  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/14/dl/05.pdf>

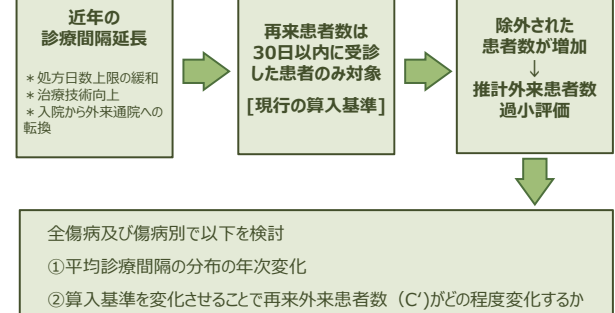


## 総患者数と平均診療間隔

総患者数



## 目的



## 方法

### ■ 使用した調査

平成8年から平成23年までの患者調査の調査票情報 (病院票・一般診療所票)

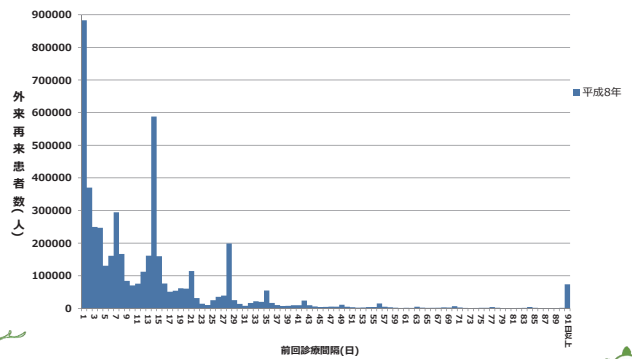
### ■ 検証方法

- ① 再来外来患者数を「診療間隔別」、「傷病分類別」に集計
- ② 診療間隔の算入基準(現行30日まで)を60日、90日…と延長した場合に、平均診療間隔がどう変化するか、「診療間隔別」、「傷病分類別」に集計



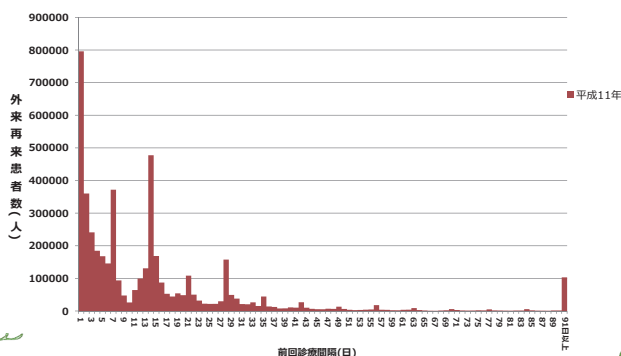
## 診療間隔の年次推移(平成8年)

全傷病における前回診療間隔の年次推移



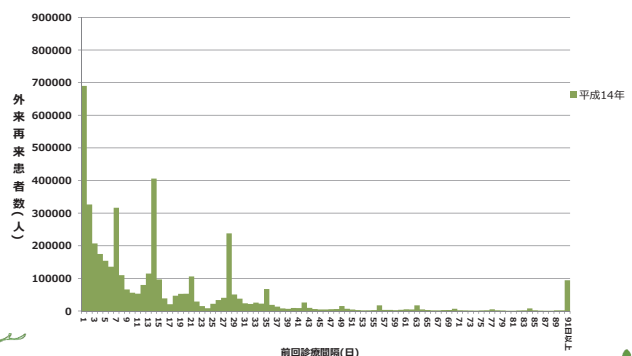
## 診療間隔の年次推移(平成11年)

全傷病における前回診療間隔の年次推移



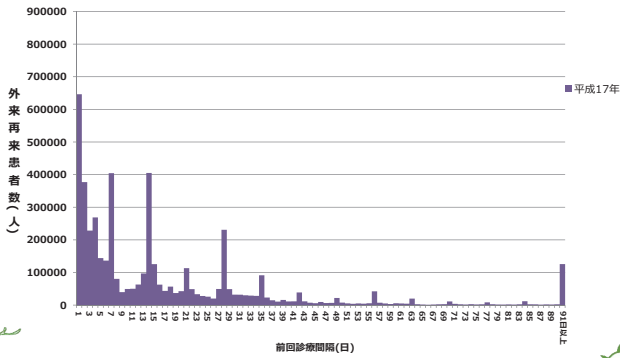
## 診療間隔の年次推移(平成14年)

全傷病における前回診療間隔の年次推移



## 診療間隔の年次推移(平成17年)

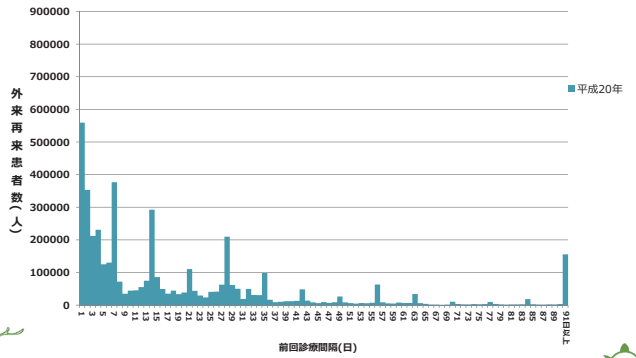
全傷病における前回診療間隔の年次推移



9

## 診療間隔の年次推移(平成20年)

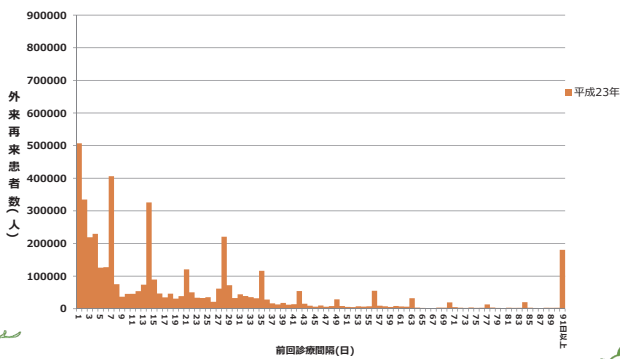
全傷病における前回診療間隔の年次推移



10

## 診療間隔の年次推移(平成23年)

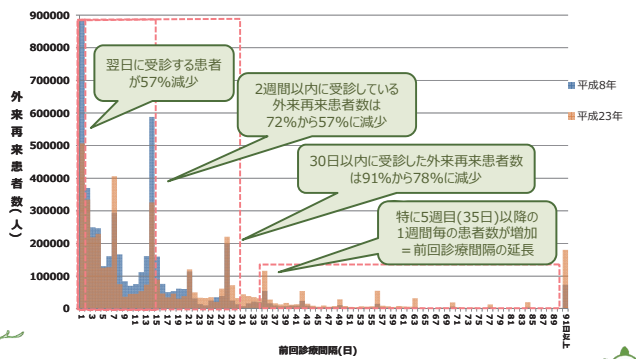
全傷病における前回診療間隔の年次推移



11

## 診療間隔の年次推移(平成8年対平成23年)

全傷病における前回診療間隔の年次推移



12

## 算入基準を変更した場合の疾病別平均診療間隔

傷病分類	調査年	診療間隔 (日)				
		1~30	1~60	1~90	1~120	1~180
全傷病	平成8年	9.46	11.40	12.20	12.80	13.13
	平成17年	9.96	13.44	14.99	16.10	16.64
	平成23年	10.49	15.11	17.38	19.08	19.78
	平均	11.79	13.51	14.39	14.97	15.81
胃の悪性新生物	平成8年	12.28	16.39	18.60	20.51	21.16
	平成17年	11.37	16.30	20.22	23.12	23.92
	平成23年	12.92	14.56	16.17	18.19	19.30
	平均	10.74	14.97	18.04	20.99	22.49
乳房の悪性新生物	平成8年	12.71	14.49	14.98	15.41	15.60
	平成17年	14.74	19.20	20.29	20.85	20.99
	平成23年	16.16	22.70	25.05	25.93	26.42
	平均	12.57	13.98	14.41	14.89	15.02
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	平成8年	10.53	12.31	12.94	13.24	13.30
	平成17年	10.63	13.06	13.80	14.14	14.22
	平成23年	12.46	13.83	14.09	14.24	14.34
	平均	14.42	17.63	18.33	18.69	18.78
本態性(原発性)高血圧(症)	平成8年	16.26	21.29	22.69	23.26	23.46
	平成17年	13.34	18.00	20.19	21.12	21.94
	平成23年	14.87	21.09	25.57	27.25	28.28
	平均	15.17	23.44	27.56	29.23	30.89
アトピー性皮膚炎	平成8年	10.24	11.82	11.82	14.15	14.15
	平成17年	8.66	12.40	14.17	16.51	16.51
	平成23年	8.89	11.22	12.44	13.07	13.07
	平均	11.87	13.11	13.33	13.44	13.62
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	平成8年	11.79	15.61	16.85	17.28	17.40
	平成17年	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12
	平成23年	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12
	平均	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12
パーキンソン病	平成8年	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12
	平成17年	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12
	平成23年	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12
	平均	11.20	16.68	19.00	19.94	20.12

※現在の推計方法(1~30日)から1.5倍以上2倍未満のものを橙色、2倍以上のものを赤色に色分けしている。

13

## 考察

- 平成8年に比べ、平成23年調査では多くの傷病分類で診療間隔が延長

平均診療間隔の計算については、前回診療から30日以内の再来患者を対象とする現行の計算方式は変更すべきである。

- 「新生物」では診療間隔が大きく延長しているが、「パーキンソン病」や「脊髄性筋萎縮症及び関連症候群」は著しい変化は認めない

治療手段や方針に大きな改善が認められる傷病は、短期間高頻度に受診する患者が減少していることが考えられる。

## 結論

- ① 外来診療間隔は調査年毎に延長
- ② 前回診療間隔の算入基準を変える必要がある(例: 30日以内→90日以内など)
- ③ 上記の結果、再来外来患者数の上昇と、総患者数の大幅な上昇が想定される(糖尿病では166.2万人→256.6万人など ※平成23年)

15

## ご清聴ありがとうございました

- 公衆衛生学会で本研究「患者調査における平均診療間隔の分布と外来再来患者数の変化」を発表予定
- 医療情報学会で「NDB(ナショナルデータベース)の課題および留意点と今後の展望」を発表予定
- そのほか、「お墓の推計シミュレーション(仮)」を検証中

16